

# やすらぎ

11月号/No. 356

平成23年11月1日発行

富山赤十字病院

TEL(076)433-2222

発行責任者 粟林 弘明

編集責任者 桑間 直志

## 「院内助産」をはじめます

7-西看護師長 森 太貴子

はじめに

「院内助産をはじめます」と病院のホームページで宣言し、出産スペースの改修工事などの準備期間を1年経て、本格始動する運びとなりました。

富山赤十字病院で院内助産をはじめた動機は、多様な妊産婦さんのニーズに応えること 妊産婦さんが主体的に自然分娩にむけて心と身体の準備ができるようにすること 助産師が専門性を発揮すること チーム医療としての充実が期待できることなど、妊産婦さんと医療者の両方にとってメリットです。

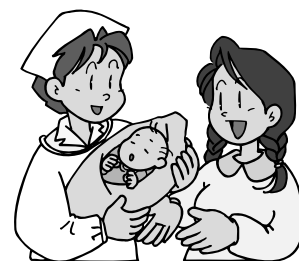
### 【 多様な妊産婦さんのニーズに応える 】

医療の介入は母体や新生児に対するいざという備えであったり、施設のアメニティーや快適性であったり、妊産婦さんによって優先する条件は異なります。

出産は女性の生涯のなかで貴重なライフイベントです。女性が、誕生した子の母となり、新たな家族を迎えるときを、どのような場で誰とどのように迎えるのか楽しむべきです。その出産場所としてのひとつの提供方法が院内助産システムです。

たとえば、「自宅で出産をしたいけど、家族が賛同してくれない」とつぶやく妊産婦さんのニーズは、実は自宅という単に場へのこだわりだけではありません。「産み」「生まれる」その瞬間、誰がどのように関わるかということに期待している何かがあります。

妊産婦さんと家族のニーズに寄り添いながら、助産師は安全性と快適性を十分に確認しバースプランを話し合います。



## ＋ 理 念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

### 基本方針

- 1 患者さん中心の医療を提供します
- 2 より高度な医療の実践を目指します
- 3 地域医療に貢献する病院を目指します
- 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます
- 5 次代を担う医療従事者を育成します
- 6 働きがいのある病院運営に努めます
- 7 健全経営の維持に努めます

富山赤十字病院

## ＋ 患者さんの権利

病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします。

- 1 個人の尊厳が守られる権利
- 2 プライバシーが保障される権利
- 3 適切な情報と説明を受ける権利
- 4 自ら医療行為を選択する権利
- 5 適切で最善の医療を受ける権利

富山赤十字病院

【 妊産婦さんが主体的に自然分娩にむけて心と身体の準備ができるようにする】

妊産婦さんが自らの心と身体をコントロールすることで、自然分娩を支援します。

日本では無事に産んで当たり前のようになっていますが、そのために定期的に健診を受け、心と身体を良好な状態に保つことを大事にしてきました。その定期健診を利用しながら日常の食生活や健康管理をアドバイスします。妊婦さんだけでなく家族を巻き込むことが大切です。

たとえば、これからの季節、健康管理を妊婦さんだけが努力しても、家族が流行性の感染症を持ち込むことで妊婦さんの健康状態が脅かされます。家族ぐるみで行う衛生行動が必要になります。

また、想定外の状況で迎える出産日を回避するためにコミュニケーションが増えます。必然的に家族間の結束力が高まり想定外を想定内にする力を発揮できます。

【 助産師が専門性を発揮する】

全国の所々では産科医師の不足や出産を取り扱う病院の閉鎖によって、出産場所がなく「お産難民」といわれる現状で院内助産を立ち上げるところもあります。

幸いなことに、富山県では周産期医療は充実していますし、出産場所は選択することができます。そして、人口比率でみる助産師数は全国第1位となっています。豊富にいる助産師の専門能力を発揮し、正常な出産を支援することこそ、本来の助産師の役割です。

【 チーム医療としての充実が期待できる】

母子の生命が脅かされるリスクはどんな正常な妊娠、分娩経過であっても出産が終わるまで安心はできません。正常な経過から逸脱した時点で、速やかに医師に協力を要請するチーム医療体制を整えています。これが総合病院で出産する大きなメリットです。安全性と快適性をめざします。

おわりに

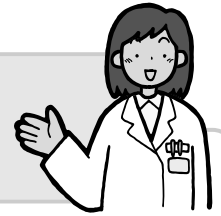
これまでの準備期間中に、「院内助産」システムで10例ほど出産がありました。「自分の力で産む」という強い信念で心身を整えられていました。妊娠から出産までのプロセスのなかで健康を保持することは決して容易ではなく努力された結果でした。そしてその産婦さんらを支えていた家族の絆を感じ、その場に居合わせた医療スタッフは幸せな気持ちにさせていただきました。いのちの誕生と同時に、新たなお母さんやお父さん、そしてお兄ちゃん、お姉ちゃんへと変わる様子がよく見えます。「院内助産」をはじめたことをきっかけに、妊産婦さんと医療スタッフとのコミュニケーションをより良くしていきたいと考えています。

妊産婦さんや県内外の周産期医療関係者、メディアなどから、院内助産に関して問い合わせがあります。完成した院内助産システムではありません。今後も皆様のご意見を伺いながら充実を図っていきます。



# 子宮頸がんの予防・検診について

がん相談支援センター 多賀 明子



当院は、富山県がん診療地域連携拠点病院であり、地域住民の方々へのがんの啓蒙活動を行っています。9月はがん征圧月間であり、がん予防に関する情報をやすらぎホールに掲示しました。また公開健康講座を開催し、今年度は産婦人科医による子宮頸がんの予防ワクチンや検診についての話がありました。今回は子宮頸がんについてご紹介していきます。

子宮頸がんは若い女性に多く発生するがんであり、特に20～30歳代の女性に発生する悪性腫瘍のなかで第1位を占めています。がんの発生にはウイルスによる感染が原因であることが分かってきました。これを受け、近年のがん研究の成果でワクチンが開発され、性交渉をする前の12歳前

後の女兒に感染予防ワクチンを接種することで、7割以上の子宮頸がんが予防できるようになってきました。がんは予防と早期発見が重要であり、国のがん対策の一環として市町村から、20歳・25歳・30歳・35歳・40歳の女性に子宮頸がん検診の無料クーポン券が配布され、検診受診率も徐々に高くなってきました。子宮頸がんは無症状で進行していくため、検診でがんを早期に発見し治療することが重要になります。

がん相談支援センターでは今後もがん予防と早期発見に対する啓蒙活動を行っています。がんに関するさまざまなご相談もお受けしておりますのでお気軽にお問い合わせください。



富山赤十字病院

日本赤十字社

## 母乳育児支援の方針

私たちはユニセフ/WHOの「母乳育児成功のための10か条」に基づき支援を行います。

- 1 私たちは、母乳育児を大切に考え、病院スタッフ全員に周知できるように努めます。
- 2 私たちは、お母さんが楽しく母乳育児できるような支援を目指し、技術習得に努めます。
- 3 私たちは、妊娠期から母乳育児を知っていただくために、外来保健指導室や安産教室を活用して情報提供します。
- 4 私たちは、母子の早期接触として出産直後にカンガルーケアを行い早期授乳開始に努めます。
- 5 私たちは、母乳分泌を促進し維持できる方法をお母さんに伝えます。
- 6 私たちは、赤ちゃんにとって医学的に必要ないかぎり糖水や人工乳は使用しません。
- 7 私たちは、お母さんと赤ちゃんが終日一緒にいられるように母子同室を実施します。
- 8 私たちは、赤ちゃんが欲しがるときいつでも母乳をあげられるように支援します。
- 9 私たちは、母乳育児の赤ちゃんに人工乳首やおしゃぶりを与えません。
- 10 私たちは、お母さんが退院後「母乳外来」や「赤ちゃん健診」を活用し母乳育児を継続していくための支援をします。

## 敷地内全面禁煙についてのお願い

当院では、患者さんの受動喫煙を防止し健康増進をはかるため、敷地内を全面禁煙とさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

病院長

## 携帯電話の使用についてのお願い

携帯電話の使用禁止区域では電源をお切りくださいますようお願いいたします。

なお、使用可能区域においても他の方々の迷惑にならないようご注意をお願いいたします。



# 11・12月健康教室等のお知らせ

患者さん、ご家族の方、お気軽にご利用ください

【お問い合わせ】電話 (076)433-2222

医療社会事業部(内線2322)

教室・外来	内 容	実施日 <small>授乳日除く</small>	時 間	場 所	担 当	申込窓口
糖尿病指導コース	食事療法	毎週火曜	14:00～15:30	3階討議室	栄養士	外来通院の方は 内科外来
	病気・生活の話	毎週水曜	14:00～15:30	3階討議室	高田医師	
	口腔衛生について(「病気・生活の話」と一緒に)	11月16日D 12月21日D	14:00～14:30	3階討議室	歯科衛生士	
	薬の話	毎週木曜	14:00～14:30	9F西病棟説明室	薬剤師	
食事指導コース	糖尿病の検査	毎週金曜	14:00～14:30	3階討議室	検査技師	入院中の方は 病棟看護師
	運動の話と実技(運動の実技は主治医の許可を受けてください)	毎週金曜	14:30～15:00	3階リハビリ室	理学療法士	
	昼食会	11月24日E 12月22日E	11:30～12:30	看護専門学校2階調理室	栄養士	
	腎臓病教室(慢性腎不全の食事療法)	11月16日D	14:00～15:00	3階講義室	栄養士	
安産教室	1コース ～イメージしよう体の中を！～	11月4日F 12月2日F				主治医 地域医療連携室
	2コース ～自分と向き合ってみよう！～	11月11日F 12月9日F	14:00～15:30	化学療法棟1階会議室	医師 助産師	
	3コース 楽しく学ぼう！いいお産	11月18日F 12月16日F			歯科衛生士	
	4コース おっぱいのひ・み・つ	11月25日F			保健師	
禁煙教室	禁煙についての相談と講義	第1～4金曜	15:00～15:30	病棟説明室 開催場所はパンフレットに 記載しております。	保健師	申込不要
禁煙外来	禁煙についての内服治療を含めた支援	第1～4金曜	午後	呼吸器外科外来診察室	医師	主治医 地域医療連携室
助産師母乳外来	乳房マッサージ・育児相談・授乳相談	毎週火曜	13:00～15:30	産婦人科外来第3診察室	助産師	7F西病棟 産婦人科外来
助産師外来	妊娠中、分娩から産後の育児についての相談、アドバイス	毎週月～金曜	13:30～16:00	産婦人科外来第3診察室	助産師	産婦人科外来
看護相談	糖尿病相談(療養上の留意点、自己血糖測定など)	毎週月～金曜	8:30～17:00	9階外来看護指導室	看護師	内科外来
赤ちゃんとママのじこご飯	食育教育(ホームページ栄養課をご覧ください)	第2木曜	10:00～11:00	化学療法棟1階会議室	栄養士	メールで申込
のびのびサークル	母乳育児期間中の母子の集い(ホームページをご覧ください)	第4木曜	10:00～11:30	化学療法棟1階会議室	保健師 助産師	申込不要
赤ちゃん健診	当院で生まれた赤ちゃんの発育チェック、赤ちゃん体操、母乳育児相談など	毎週火曜	13:30～15:00	化学療法棟1階会議室	保健師 助産師 看護師	7F西病棟
	ミニレクチャー がん患者と感染症について	11月9日D	14:00～14:30			
やすらぎの会	交流会	11月9日D	14:30～15:00	化学療法棟1階会議室	医師 薬剤師	主治医 看護師
	ミニレクチャー 痛みについて	12月9日F	14:00～14:30		がん相談員等	がん相談支援センター
れんげそこの会	交流会	12月9日F	14:30～15:00			
	血液内科疾患 患者・家族・医療スタッフの会	12月14日D	14:00～15:00	9F西病棟説明室	9F西スタッフ	申込不要
ストリー外来	ストリーの説明(手術前)・手術後の定期的なフォローアップなど	毎週火曜	13:30～15:00	外科外来診察室	医師 看護師	外科外来